

宮城県感染症発生動向調査情報(第33週)

宮城県【平成25年08月22日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.8.12 ~ 8.18 ・ 第33週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り
宮城県(含む仙台市)

疾病	保 健 所								患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市			第30週	第31週	第32週	第33週
水痘	1 0.20	4 0.40	1 0.20	4 2.00	1 0.33	8 1.60	2 1.00	10 0.38	31 0.53	2,477	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		4 0.40				2 0.40	3 1.50	7 0.27	16 0.28	793	○→	○→	レ→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	22 4.40	17 1.70	8 1.60	4 2.00	4 1.33	12 2.40	1 0.50	28 1.08	96 1.66	11,905	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	42 8.40	26 2.60	48 9.60	20 10.00	12 4.00	16 3.20	15 7.50	99 3.81	278 4.79	1,705	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑		3 0.30					3 1.50	4 0.15	10 0.17	432	→	→	→	
突発性発しん	3 0.60	4 0.40	4 0.80	1 0.50	3 1.00	1 0.20	1 0.50	14 0.54	31 0.53	1,202	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	20 4.00	15 1.50	13 2.60	6 3.00	8 2.67	25 5.00	6 3.00	58 2.23	151 2.60	1,318	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱	1 0.20	1 0.10			1 0.33			8 0.31	11 0.19	633	→	→	○→	レ
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 0.20	8 0.80		2 1.00	4 1.33	14 2.80		6 0.23	35 0.60	3,555	◎→	◎→	◎→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	7	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	4 4.00	6 6.00	1 1.00		1 1.00	5 5.00	3 0.60	21 1.75	646	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		2 0.20	2 0.40			11 2.20		10 0.38	25 0.43	431	→	○→	○→	レ
拡張疾病	1	3	2					6	4		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向			
川崎病	1										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
不明発疹症								5						

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性1名、女性1名(第30週)、女性1名
 - 塩釜管内 女性1名
 - 登米管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 - 仙台管内 女性2名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
 - 仙南管内 *女児1名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O121)
 - 大崎管内 女性1名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)
 - 大崎管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 塩釜管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名(第31週)
 - 仙台管内 男性1名(第32週)、男性3名、女性1名
- 5類感染症: 侵襲性インフルエンザ菌感染症
 - 仙南管内 男性1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 男性1名
 - 破傷風
 - 仙台管内 女性1名
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症(第32週)
 - 仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

—宮城県感染症対策委員会情報解析部会—

- 【手足口病】
仙南、塩釜、大崎、栗原、気仙沼、仙台管内で警報継続中。
- 【ヘルパンギーナ】
栗原、石巻、気仙沼管内で警報継続中。
- 【伝染性紅斑】
気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

- ～保健環境センター～
ヘルパンギーナ患者より
登米管内 第30週採取分 エンテロウイルス(型不明) 遺伝子 1件
仙南管内 第31週採取分 コクサッキーウイルス(A2型) 遺伝子 1件
仙南管内 第32週採取分 コクサッキーウイルス(A2型) 遺伝子 1件
手足口病患者より
仙南管内 第31週採取分 コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子 1件
- ～仙台医療センターウイルスセンター～
第31週採取分 第32週採取分 第33週採取分
(7.29～8.4) (8.5～8.11) (8.12～8.18)
RSウイルス 11件 2件 3件
ムンプスウイルス 1件 0件 0件
アデノウイルス 1件 1件 0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数(人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第31週	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第32週	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
第33週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第30週 再掲) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(1.72)、熊本県(0.05)、香川県(0.04)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は831例と第25週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加した。佐賀県(2.52)、広島県(1.17)、大分県(1.17)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は増加した。福井県(2.41)、富山県(2.10)、鳥取県(2.05)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。大分県(9.44)、茨城県(5.81)、宮崎県(5.72)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は増加した。和歌山県(1.52)、富山県(1.48)、大分県(1.22)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。埼玉県(18.42)、東京都(15.75)、香川県(14.45)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。宮城県(0.33)、新潟県(0.33)、富山県(0.24)が多い。**百日咳:** 定点当たり報告数は増加した。高知県(0.10)、福井県(0.09)、山形県(0.07)、兵庫県(0.07)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。高知県(8.93)、山形県(6.33)、新潟県(6.20)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は横ばいであった。福井県(1.32)、福岡県(0.77)、福島県(0.76)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は増加した。富山県(1.40)、岡山県(1.40)、宮城県(1.33)が多い。

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
宮城県: 51定点
仙台市: 42定点
合 計: 93定点